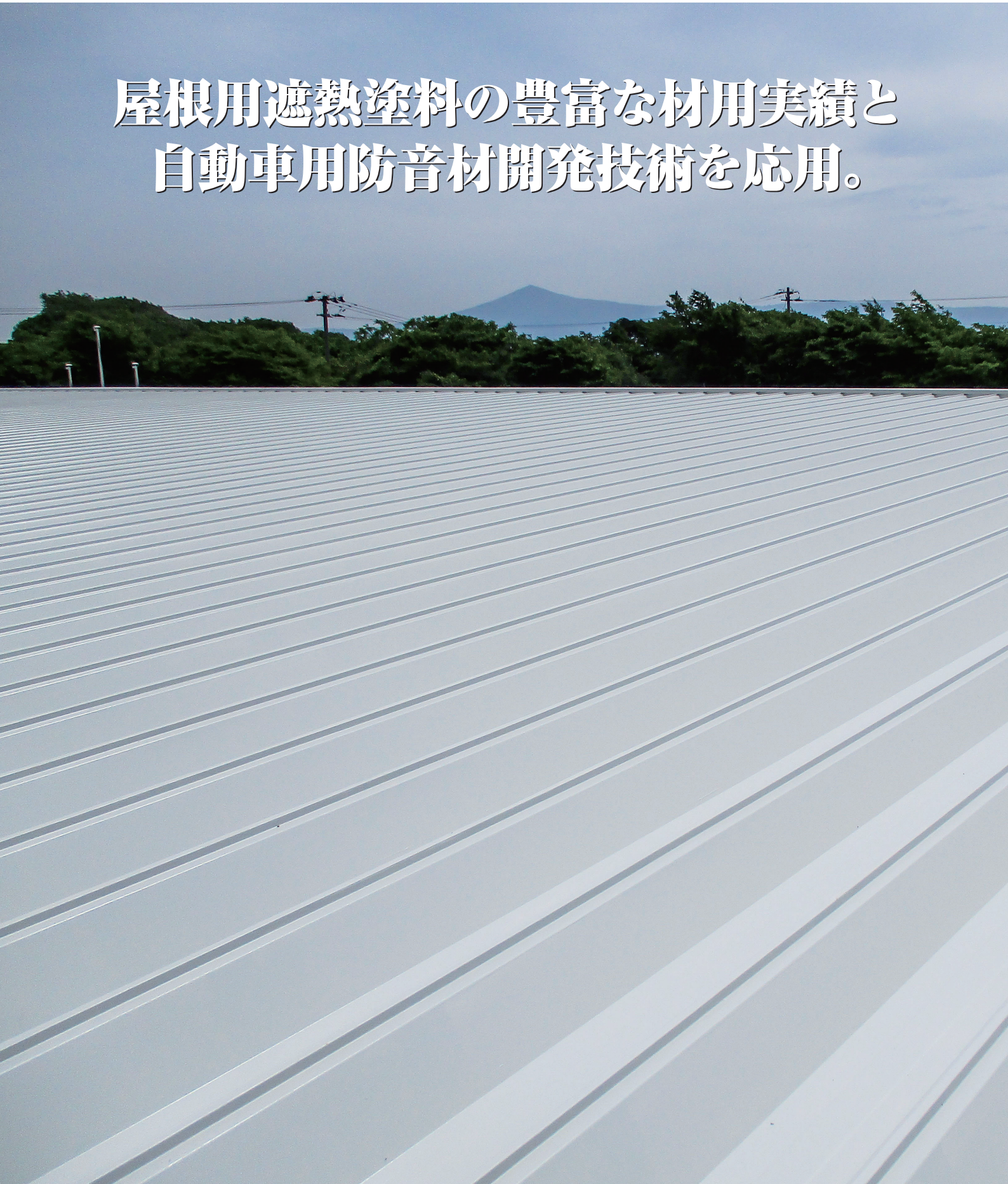


パラサーモシールド カタログ

【改訂第7版】

屋根用遮熱塗料の豊富な材用実績と
自動車用防音材開発技術を応用。



遮熱・断熱・防音効果を組み合わせた屋根用遮熱塗料「パラサーモシールド」。

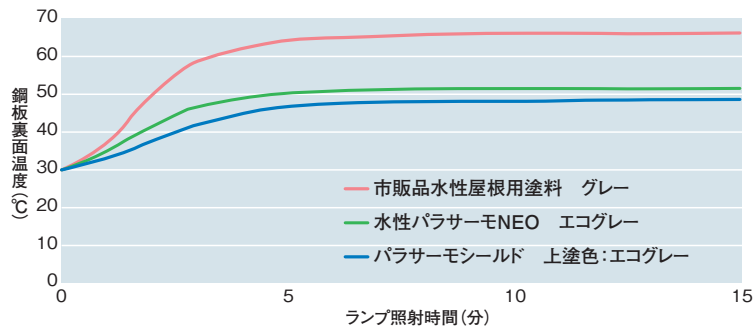
熱反射性中空バルーンが太陽熱を遮断、約16℃の温度低減効果で快適な居住環境づくりに貢献します。

「パラサーモシールド」は、中空バルーンを配合している中塗り層が熱と音を遮断し、遮熱性の上塗り層と組み合わせることで、より優れた遮熱効果を発揮します。また、上塗りは白や淡彩色系から濃色系までカラフルな標準色を設定しています。保護・美装はもちろん、遮熱・防音機能で快適な居住環境を実現します。

特長

- 1 中空バルーン層と遮熱性の上塗層を組み合わせることで、より優れた遮熱効果を発揮します。
- 2 高い防音効果により、雨音などの騒音を軽減します。
- 3 白、淡彩色から濃色までカラフルな標準色をラインアップしました。
- 4 環境配慮型の金属用下塗り材は弱溶剤形塗料、中塗り・上塗り材は環境に配慮した水性塗料です。

遮熱効果

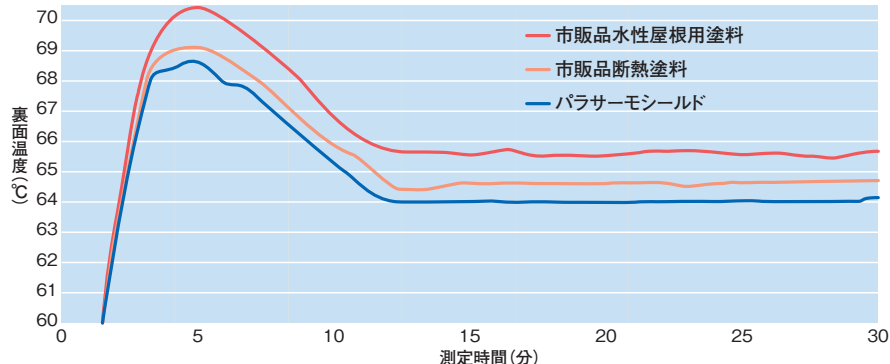


【条件・結果】

●300Wランプ ●鋼板300×150×0.8mm
ランプ照射後の試験板裏面温度を測定すると、一般塗料グレーと比べ、約16℃の温度低減効果があります。当社の屋根用遮熱塗料「水性パラサーモNEO」と比べても約3℃の温度低減効果があります。

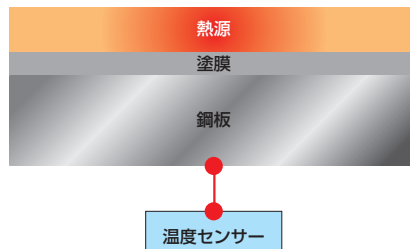
●**ご注意**：基準色より既存塗膜が淡彩色の場合、遮熱(温度低減)効果が得られないケースもございますのでご注意ください。詳細は最寄りの営業所にご確認ください。

断熱効果



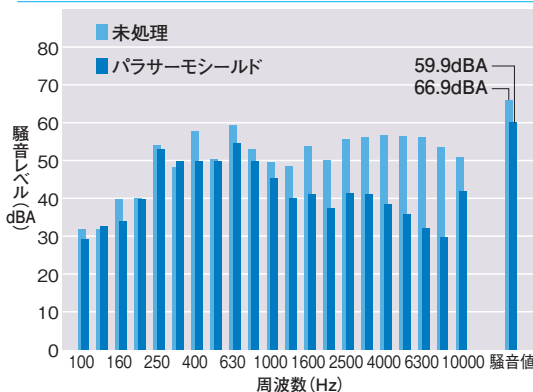
【条件・結果】

●熱源設定温度70℃ ●塗料膜厚400μm ●鋼板0.8mm
市販屋根用塗料と比べると、パラサーモシールドは1.7℃の温度低減効果があります。

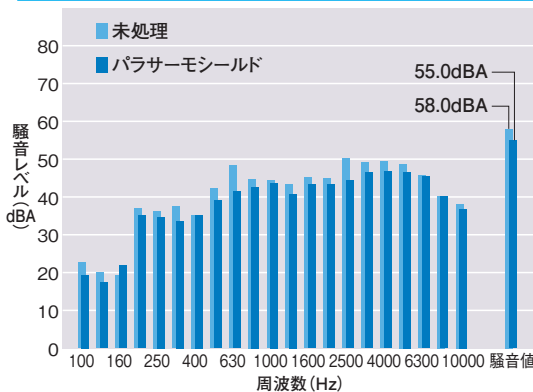


防音効果

■鋼板屋根塗り替え仕様



■薄形化粧スレート・スレート屋根塗り替え仕様



【条件・結果】

●水滴落下試験方法(社内試験)
●鋼板300×300×0.8mm……未塗装板と比べて7dB程度の騒音を低減
●新生瓦400×900×5.0mm……未塗装板と比べて3dB程度の騒音を低減
※約3dB低くなることは、音のエネルギーが半減(100個のスピーカーが50個になります)したことになります。

【騒音値と騒音の例】

100dBA ……電車が通るときガード下などの音量、80dBA ……地下鉄・電車などの車内の音量、60dBA ……普段の会話・静かな乗用車内の音量、40dBA ……静かな事務所の音量、30dBA ……図書館・静かな住宅地の屋帯・市内など深夜帯の音量、20dBA ……郊外の深夜帯・ささやき声程度の音量、10dBA ……木の葉のふれあう音・置時計の秒針音(前方1m)の音量

用途

- 工場、倉庫などのスレート、トタン、鋼板屋根およびガルバリウム鋼板などの金属屋根
- 体育館の屋根
- 戸建ての一般住宅屋根(薄形化粧スレート、スレート屋根、厚形スレートなど)
- その他畜舎、車庫などの各種屋根

荷姿

- パラサーモシールド金属プライマー……………17kgセット(A液:15kg B液:2kg)
- パラサーモシールドGプライマー……………16.5kgセット(A液:15kg B液:1.5kg)
- パラサーモシールドスレート用シーラー……………15kg
- パラサーモシールド中塗……………15kg
- パラサーモシールド上塗各色……………15kg

塗膜性能

試験項目	試験方法	成績
付着性	ゴバン目テープ試験(2角 100マス)	100/100
耐水性	水道水 18時間浸漬 剥離のないこと	異常なし
温冷繰り返し	20℃水中×18時間浸漬 → -20℃×3時間静置 → 50℃×3時間静置を1サイクル×10サイクル	異常なし
耐アルカリ性	飽和水酸化カルシウム溶液 24時間浸漬	異常なし
耐酸性	5%硫酸水溶液 24時間浸漬	異常なし
促進耐候性	サンシャインウエザオメーター 2,000時間で著しい劣化がないこと	異常なし
熱伝導率	熱線法試験	0.19W/m・K

標準塗装仕様

●鋼板屋根およびガルバリウム鋼板などの金属屋根塗り替え仕様

工程	材料の調合(重量比)	塗り回数	施工方法	可使時間(23℃)	使用量(kg/m ² /回)	1回当たりの塗り面積	施工間隔(23℃)	
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ●フクレ、割れ、浮きなどの劣化塗膜はケレン工具を用いて除去してください。 ●サビは電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗面を清掃してください。 ●被塗面の表面の塵、ホコリ、油脂類はシンナーや高圧水洗浄(10MPa以上)などで完全に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。 							
補修塗り	●鋼板屋根、ガルバリウム鋼板などの金属屋根で補修塗りが必要な場合は、下塗り工程に準じて適量を使用してください。可使時間と施工間隔は下塗り工程と同じです。							
下塗り	鋼板、トタン、カラトタンの場合	●パラサーモシールド金属プライマー A液……………15kg ●パラサーモシールド金属プライマー B液……………2kg ●NT塗料用シンナー A……………0~0.8kg	1回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.2~0.25	68~85 m ² /セット	16時間以上 72時間以内
	ガルバリウム鋼板、ステンレス鋼板、アルミ板の場合	●パラサーモシールドGプライマー A液……………15kg ●パラサーモシールドGプライマー B液……………1.5kg ●エポラ#3シンナー……………2~4kg				0.2~0.25	66~82 m ² /セット	6時間以上 72時間以内
中塗り	●パラサーモシールド中塗……………15kg ●水……………0~0.3kg	1回		—	0.3	50 m ² /缶/回	4時間以上 72時間以内	
上塗り	●パラサーモシールド上塗……………15kg ●水……………0~1.5kg	2回		—	0.15	100 m ² /缶/回	2時間以上	

●薄形化粧スレート・スレート屋根・厚形スレート屋根塗り替え仕様

工程	材料の調合(重量比)	塗り回数	施工方法	可使時間(23℃)	使用量(kg/m ² /回)	1回当たりの塗り面積	施工間隔(23℃)
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ●表面の塵、ホコリ、コケや既存塗膜の浮き、ハガレなどは、高圧水洗浄(10MPa以上)やワイヤーブラシなどで完全に除去してください。 ●水洗い後は十分に下地を乾燥させてください。 						
下塗り	●パラサーモシールドスレート用シーラー(現液のまま使用)	1回		—	0.15	100 m ² /缶/回	4時間以上 72時間以内
中塗り	●パラサーモシールド中塗……………15kg ●水……………0~0.3kg	2回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	—	0.3	50 m ² /缶/回	4時間以上 72時間以内
上塗り	●パラサーモシールド上塗……………15kg ●水……………0~1.5kg	2回		—	0.15	100 m ² /缶/回	2時間以上

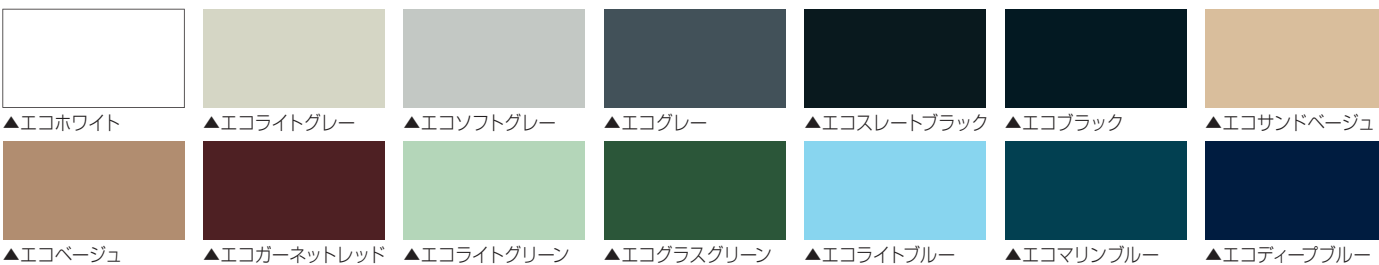
※上塗りには、水性の「水性ルーフセラ遮熱」や「スーパーパラサーモシリコン」「パラサーモU」「パラサーモSi」「パラサーモF」がご使用いただけます。ご使用に当たっては、各上塗りのカタログをご参照ください。

【パラサーモシールド中塗のエアレススプレーの標準塗装例】

●塗装機……………高粘度型エアレスポンプ(ポンプレシオ20: 1~30: 1)	●吐出量……………5~8kg/分
●使用チップ径……………0.8mm以上	●塗装速度……………50~60cm/秒
●パターン幅……………25~30cm	●乾燥膜厚……………約180μm

標準色

- 本標準色は「パラサーモシールド上塗」のみの限定色です。他の品種には適用できません。
- 本標準色は印刷のため、実際の仕上りと多少の色違いが生じる場合があります。ご了承ください。



「パラサーモシールド」施工上の注意事項

■遮熱性能について

- 遮熱性能は、明度と色相により変わります。既存塗膜の色が塗り替え予定の色より薄い場合、遮熱効果が得られない場合があります。詳しくは、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 建物の形状、構造、基材(素材)や既存塗膜の明度と色相によっては十分な遮熱効果が得られず室内温度低減効果が期待できない場合があります。詳しくは、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- ガルバリウム鋼板は素材自体が高い遮熱性をもっています。無塗装ガルバリウム鋼板へのご使用については、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 遮熱効果は、塗膜上に汚れが堆積すると遮熱性能が低下します。他にも立地環境や建物の屋根材の種類、屋根勾配、構造などが起因する場合があります。詳しくは、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 遮熱塗料の全面施工と部分施工では遮熱効果が異なります。部分施工では未塗装部分に影響し遮熱効果が得られない可能性がありますので、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所にお問い合わせください。

■塗料調合と施工について

- 改修工事の場合、既存塗膜の種類や劣化状態を確認し、健全な状態であり、しっかりと付着していることをテープテストにて確認してください。
- 高圧水洗浄やスプレー施工では、周辺の状況をよく確認し十分に養生を行ってください。
- 水洗い後は下地を1日以上乾燥させてください。各工程では、雨や露などで濡れている場合は十分に乾燥させてから施工してください。
- 標準塗装仕様はあくまで「標準的な仕様であり、下地の状態、形状、施工条件、気象条件などにより使用量や可成時間など多少偏を生じることがあります。
- パラサーモシールドをローラーや刷毛で施工すると、表面に凹

- 凸が発生します。
- 施工当日から施工後翌日までに降雨、降雪が予想される場合や気温5℃以下、湿度80%以上での施工は避けてください。塗膜が未乾燥状態で降雨や夜露などにあたると艶引けや白化などの原因につながります。特に冬季は乾燥に時間がかかりますので、乾燥までの時間を考慮して作業を終了してください。
- 山間部、あるいは夜露が早く降りる地域では、早めに施工を終了し、十分に乾燥時間を確保してください。光沢低下、フクレ、割れ、ハガリの原因になります。
- 本製品はいぶし瓦、粘土瓦(素焼き瓦、いぶし瓦、釉薬瓦など)、モニエル瓦、スカンジア瓦などの乾式瓦は使用できません。
- 下地にシリコン樹脂塗料やフッ素樹脂塗料、無機塗料、アルミ使用塗料、光触媒塗料が施工されている場合、付着性などの点より注意が必要です。最寄りの営業所にお問い合わせください。
- スレート用シーラー施工後に降雨にあった場合、施工間隔が長くあいた場合は、再度スレート用シーラーを施工してください。特に夏季で使用量が少なく、施工間隔があいた場合は必ずスレート用シーラーを再施工してください。
- 「パラサーモシールドスレート用シーラー」と一般の水性塗料を混合しますとゲル化、フツ発生などの原因となります。施工の前には、使用器具を水で十分に洗浄してください。
- 薄化粧系スレートのローラー施工の場合、施工後に前木口部に塗料が溜まりますと雨漏りにつながることがあります。必ず皮すきやカッターなどで縁切りを行ってください。
- 塗料は必ず規定配合比で調合し、電動攪拌機などで十分に攪拌してから施工してください。規定配合比で調合しないと、仕上りが悪くなるばかりか、本来の塗膜性能を発現しない場合があります。
- 他の塗料との混合は絶対に行わないでください。弱溶剤系上塗り(パラサーモUなど)はアルコールや水の混入は絶対に避けてください。
- 希釈量や材料の使用量が多すぎたり、少なすぎたりすると、色

- 相が変化して見えることがあります。特に上塗り1回では使用量が足りず、色相が変化して見えます。また、遮熱性能や耐候性が低下することもありますので、希釈剤の希釈量や使用量など仕様を厳守して施工してください。
- 夏季、炎天下でエアレスホース内に塗料を入れたまま放置すると、詰まりの原因となります。
- 各工程において、硬化が不十分な状態で施工するとリフティング(塗膜のチヂミ)を起こす場合があります。
- 瓦棒や波形トタン屋根などに施工する場合、山の部分や折曲げ部分などは塗料がつきにくいので、充分な膜厚を確保することができない可能性があります。先に捨塗りをするなどして全体的に均一な膜厚になるよう施工してください。
- ローラーや刷毛、スプレーなど施工方法が混在する場合、使用量、表面肌が異なることで若干の色相差や仕上りに差が出る場合があります。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように行ってください。ローラー目の方向により色や仕上りが異なって見える場合があります。
- シーリング面への施工は極力避けてください。塗膜の汚れや割れの原因となります。
- 無石綿スレート板に施工する場合は、反りやひび割れ、フクレなどが発生する場合があります。
- 標準色以外をご指定された場合、褪色が早い場合や、塗膜性能が低下する可能性があります。
- 上塗り塗料は、特殊顔料を使用していますので、経年劣化による褪色の傾向が一般塗料と異なる場合があります。経年で若干、赤味を帯びることがあります。
- 各上塗りについては、各塗料のカタログ「水性ルーフェーラ 水性ルーフェーラ遮熱」「ニトック屋根用遮熱塗料(パラサーモシリーズ標準色見本帳)」「スーパーパラサーモシリコン標準色見本帳」をよくお読みになり正しくご使用ください。

「パラサーモシールド」取り扱い注意事項(よく読んでご使用ください)

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合ABC粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行い、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 安全衛生上の観点から、取り扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスなどで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 材料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器(取っ手を含む)はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください。偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります。
- 取り扱い後は洗顔、水洗いおよびうがいを充分に行ってください。
- 目に入った場合は多量の水で少なくとも5分以上洗い、すみやかに医師の診察を受けてください。

- 誤って口に入った場合は、口を水でよくすすぎ、すみやかに医師の手当てを受けてください。飲み込んだ場合は直ちに医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着した場合は、多量の水で洗い流したのち中性石鹸と水で十分に洗ってください。痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。作業着などに付着した場合は、すみやかに着替えを行ってください。
- エポキシ樹脂系塗料など塗料によっては体質により皮膚障害などの感作を受ける場合があります。感作された場合、その後の当該物質にはく露されることにより再度皮膚障害などの障害を引き起こす場合があります。このため、医師の指導を受け健康障害防止のために必要な措置を講じてください。
- 皮膚障害、呼吸障害がみられる場合は、医師の診断を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 本製品の保管は必ずフタをし、雨露や直射日光の当たらない換気の良い冷暗所にて保管してください(水系塗料は凍結を避けてください)。現場で材料を保管する場合は、直射日光や雨露が当たらない、風通しの良い涼しい場所で保管してください。特に

- 夏季に車内での保管や高温になる場所での保管は危険ですので避けてください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 本製品は環境に配慮した材料を用いていますが、ご使用いただいたすべての人の健康状態を保証するものではありません。
- 本製品は、揮発性の化学物質(有機溶剤など)を含有し、臭気が発生します。あらかじめ元請や施工、近隣住民への説明を行い、了解を得てください。臭気が周辺にある物に付着する場合があります。付着が予想されるものは、施工箇所からできるだけ遠ざけ、屋内に揮発成分が流入しないように養生を行ってください。また、化学物質過敏症やアレルギー体質の方がいる場合には本製品との接触及び施工を避けてください。
- 本製品の取り扱い並びに輸送及び保管については、労働安全衛生法や消防法、道路運送車両法、船舶安全法、港則法などの各種法令を遵守してください。
- 製品をご使用の際は、必ず、警告ラベル、または安全データシート(SDS)をご参照ください。

* 製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

日本特殊塗料株式会社

■代理店

■お問い合わせ先

- | |
|--|
| 東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2 ☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323 |
| 神奈川営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10 ☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739 |
| 中部営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12 ☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124 |
| 大阪営業所 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12 ☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560 |
| 中四国営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 ☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256 |
| 九州営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 ☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762 |

●日本特殊塗料ホームページ <https://www.nttoryo.co.jp/>

PAS-10240D-S#7 [2024年10月作成] 定価100円(税抜き)